

## 安全データシート



### 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
 担当者 : 認証標準物質担当  
 電話番号 : 029-861-4059                      ファックス番号 : 029-861-4009  
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2013年12月25日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 3013001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 3013-a 炭酸カルシウム  
 (Calcium Carbonate)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、キレート滴定に用いる EDTA の標定に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。  
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030 に定められるもの）である。

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : -

GHSラベル要素 : -

注意喚起語 : -

危険有害性情報 : -

その他の有害性情報 : 粉じんは眼、気道を刺激する。多量に吸入、経口摂取すると咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れがある。

注意書き : [安全対策]

吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用すること。

[応急措置]

吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、水でよくうがいをして安静保温に努めること。

皮膚に付着した場合、直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。飲み込んだ場合、多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受けること。

[保管]

本標準物質は、直射日光を避け、気温 15 °C から 35 °C かつ相対湿度 60 % 以下の清浄な場所に保存する。

[廃棄]

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 炭酸カルシウム
化学特性	: CaCO <sub>3</sub>
分子量	: 100.09
CAS 番号	: 471-34-1
含有量	: 99.9 % 以上
官報公示整理番号(化審法)	: 1-122
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、水でよくうがいをさせ安静保温に努めること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受けること。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 皮膚、眼および個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切

- 環境に対する注意事項 : な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。  
: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和 : 掃き集めて回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 特になし
- 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。  
使用後は容器を密閉する。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。  
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。  
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。  
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。  
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

### 保管

- 適切な保管条件 : 本標準物質は、直射日光を避け、気温 15 °C から 35 °C かつ相対湿度 60 % 以下の清浄な場所に保存する。
- 安全な容器包装材料 : 炭酸カルシウム 約 25 g がガラス瓶に入れられ、それを透明無地ラミネート袋に入れてシールしている。

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない

### 許容濃度

- ・ ACGIH TLV-TWA : TWA 10 mg/m<sup>3</sup>(total dust)
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・ OSHA PEL TWA : 設定されていない

### 設備対策

- 換気・排気 : 局所排気装置又は全体換気装置。

安全管理・ガスの検知	: 測定器、検知管。
貯蔵上の注意	: 容器は乾燥した場所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスク、空気呼吸器
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護長靴、長袖作業衣
衛生対策	
産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。	

## 9. 物理的及び化学的性質

・外観	: 粉末
・色	: 白色
・臭い	: 無臭
・pH	: データなし
・融点	: 825 °C (分解)
・沸点	: データなし
・引火点	: 不燃性である。
・爆発範囲	: データなし
・蒸気圧	: データなし
・相対蒸気密度 (空気 = 1)	: データなし
・比重又は嵩比重	: 2.7 ~2.9
・溶解度	: 溶媒に対する溶解性; 水及びエタノールにほとんど溶けない。
・n-オクタノール/ 水分配係数 (log Po/w)	: データなし
・自然発火温度	: データなし
・分解温度	: データなし
・燃焼性	: データなし
・その他のデータ	: 酸により分解する。

## 10. 安定性及び反応性

### ◇安定性

- ・通常条件で安定である。

### ◇反応性

- ・酸と反応し炭酸ガスを発生する。
- ・825 °C以上に加熱すると、腐食性のある酸化カルシウムのフェュームを生じる。

### ◇危険有害反応性

- ・データなし

### ◇避けるべき条件

- ・日光、熱、酸

### ◇混触危険物質

- ・データなし

### ◇危険有害な分解生成物

・データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット	LD50=6,450 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激	ウサギ	500 mg/24時間 中程度
生殖細胞変異原性	データなし		
発がん性	データなし		

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
 ・カダヤシ(魚類) TLm>56000 mg/l/96時間

分解性・濃縮性  
 ・データなし

生体蓄積性  
 ・データなし

土壌中への移動性  
 ・データなし

オゾン層への有害性  
 ・データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 埋立処分  
 そのまま埋立処分可能。  
 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。  
 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし

国連分類 : -

品名 : -

容器等級 : -

ICAO/IATA : 該当なし

海洋汚染物質 : 該当なし

注意事項 : 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

## 15. 適用法令

適用法令なし

## 16. その他の情報

### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

---